



# 道の駅「たからだの里さいた」と香川大学との連携

道の駅「たからだの里さいた」と香川大学（「地域インターンシップ」全学共通科目）の学生が連携して、施設利用者の増加促進を図る企画提案を行います。

## ①道の駅の課題の把握

- ・ 今後増加が予想される諸外国からの来訪者に対応した施設案内板となっていない。
- ・ 日帰り温泉施設「環の湯」に、若い世代の利用者が少ない。
- ・ 物産館では地元の多くの農産物が販売されているが、オリジナル商品がない。

## 【道の駅の問題点の探求】

物産館・温泉・宿泊施設など施設が充実し、一見困ったように見えない道の駅の問題を明らかにし、働いている方から現状を聞き取り、今回の取り組みに反映します。



反 映

## ②施設利用者の増加促進を図る企画・提案

- ・ 施設案内板の多言語化
- ・ 「環の湯」の若者の利用客を増やす
- ・ 冬に販売可能な商品の開発

## 【香川大学による地域インターンシップの目的】

香川大学では、低年次で地域に出向き、地域づくりの現場・しごとを理解し、地域課題解決への参画を通じて、①社会貢献、②課題探求・解決力の修得、③能動的学修を目指している。

### インターンシップ報告会



## 【道の駅「たからだの里さいた」について】

道の駅「たからだの里さいた」は、新鮮な野菜と果物が毎日出荷される産直市を開催。温泉・宿泊施設も備え、四国霊場のお遍路が立ち寄る場所となっている。

### 地域特産の新鮮な野菜



香川大学 KAGAWA UNIVERSITY 文部科学省 地(知)の拠点

香川大学(所在地:香川県高松市)は、6学部、8研究科を擁した総合大学として、個性と競争力を高めるために「地域に根差した学生中心の大学」をめざしています。また、地域貢献では、文部科学省の大学改革推進事業のひとつ、「地(知)の拠点整備事業(COC事業)」において、平成25年度に採択され、全学的に県内自治体が連携し、離島振興や街の活性化、定住促進対策などの地域活性化に取り組んでいます。「地域インターンシップ」もCOC事業において新設された科目です。



## 平成28年度 取組み内容：施設案内板の多言語化

### 施設案内板作成の流れ

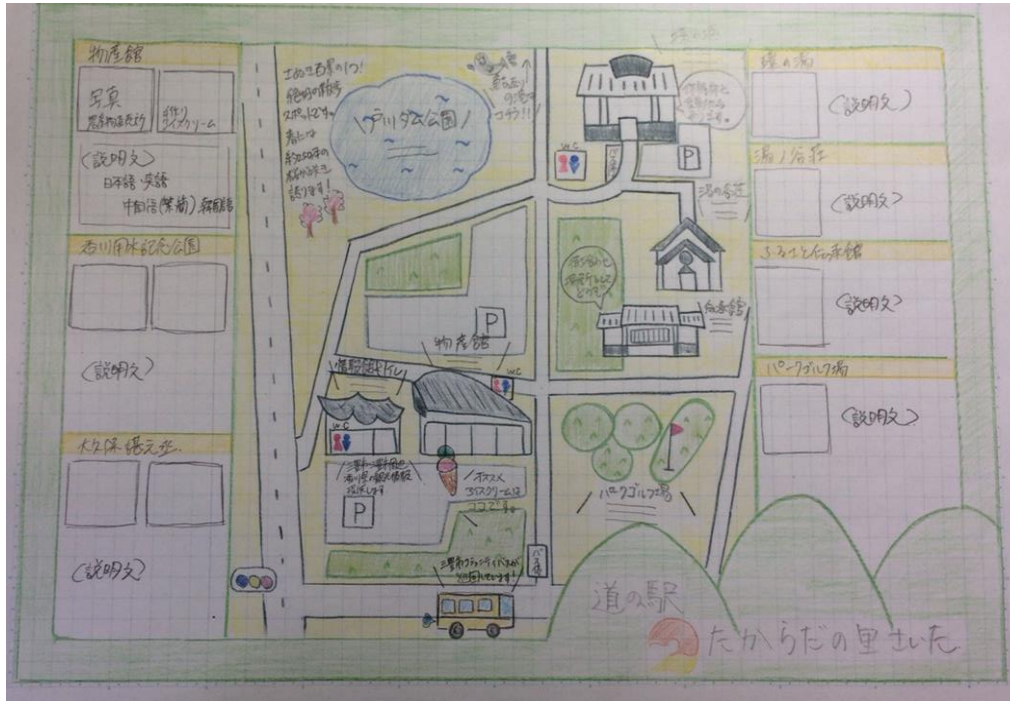
- ①施設紹介文・デザインの作成(→その後、デザイナーさんの修正)
- ②紹介文の多言語化(三豊市国際交流センターへ依頼)
- ③看板の業者に作成依頼

※今回は、①の部分を担当



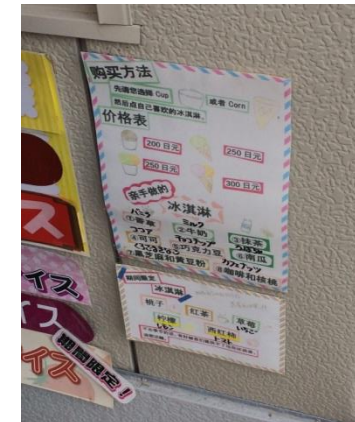
〈現在ある道の駅内の案内板〉 〈多言語化された香川県内の案内板〉

### 案内図デザインの原案



- 作成にあたっての検討事項
  - ・デザイン作成にあたり、香川県の多言語表記された観光案内板を参考。
  - ・施設との打ち合わせで、紹介を行う「道の駅」内の施設の選別や、周辺の施設も案内図の中に加えるか等の検討。
  - ・現在設置されている「道の駅」の案内板を参考に施設の配置等を検討。

### 中国語表記したアイスクリーム注文表



増加傾向にある外国人観光客が、たからだの里さいた内の施設で、気軽に訪れることができる物産館での外国語表記を行った。(中国人観光客に向けて)

中でも、バス移動での休憩として道の駅を訪れた観光客も、気軽に購入できるアイスクリームについて中国語での表記を行った。



# 道の駅「たからだの里さいた」と香川大学との連携

## 平成28年度 取組み内容：「環の湯」の若者の利用客を増やす

### 取組みまでの経緯

#### ●当初の課題

利用者の多くは高齢者が多いことから、「環の湯」の若者の利用客を増やす」の課題を受け取る。

#### ●様々な案を提案

若者の利用客を増やす案を、何案か施設側に提案するなどして検討を進める。

#### ●課題の変更

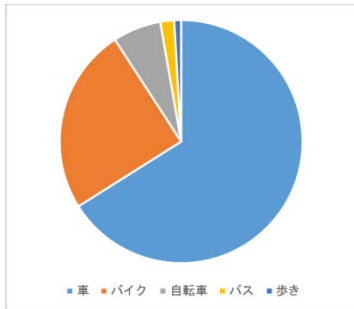
バイク、自転車の利用が多いことを知り、「バイク、自転車でたからだの里に訪れる方に環の湯に来ていただく」に課題の変更。

#### ●アンケートの実施

アンケート用紙を作成し、2回に分けて利用者110人から回答を得る。回答を整理・分析し、効果を期待できる提案を行う。

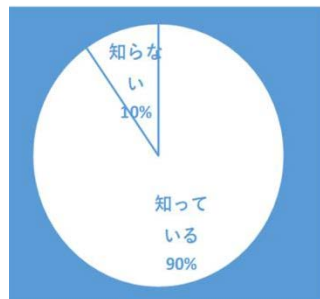
### アンケート結果

道の駅までの交通手段

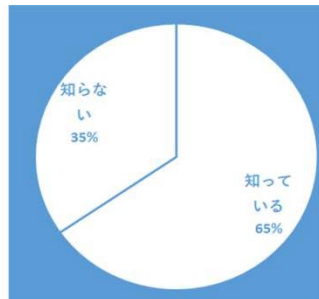


交通手段別の環の湯認知度

車

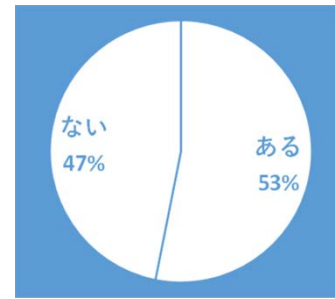


バイク

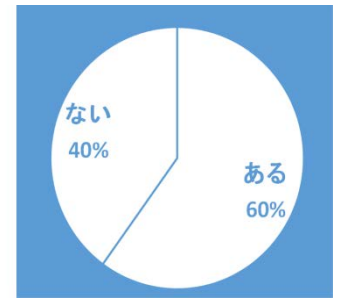


交通手段別の環の湯利用状況

車



バイク



### 「環の湯」



### 分析

- 道の駅に来た目的を交通手段別に見ると、バイクは68%が休憩で、次いで20%が物産館、車は60%が物産館で、次いで27%が休憩。
- 環の湯の認知度は、車が90%に対して、バイクは65%。
- 道の駅に来る頻度では、週1回以上が車18%に対して、バイク42%。
- 環の湯を知っていて利用する比率は、車53%に対して、バイク60%。

### 対策の提案

#### バイカーに対するの広報

- バイカーの目につきやすい場所への「環の湯」への広報が必要。
- 広報にあたり、駐車場と休憩所があることを伝える必要性がある。
- 今後、「環の湯」の清潔感をアピールする方法も必要。

道の駅に訪れるバイカーに「環の湯」が知られていない。

バイカーは、温泉に入りやすい。

### アンケート実施状況



平成28年度 取組み内容：冬に販売可能な商品の開発

試作品ができるまでの経緯

・物産館の入り口では、季節の野菜や果物を使ったアイスクリームが販売されている。



そこで..  
冬でも売ることができる商品をつかってほしい!

物産館を見ていると、猪肉・鹿肉と書いてあるところに興味がわいてきた。

→猪肉・鹿肉を使った商品をつくろう!

商品開発において

☆1回目の提案

- ✓猪肉と物産館で売ってある野菜を使ったハンバーガー
- ✓猪肉と物産館で売ってある野菜、たからだ米を使った炊き込みご飯

→猪肉の原価が高いため商品化は厳しい。そこで、通年出ているトマトを使った商品をつくろう!

☆2回目の提案

- ✓トマトをつかったグラタンかドリア
- ✓ライスコロッケの中にトマトをいれる
- ✓トマトゼリー
- ✓ミックスジュース

→ライスコロッケの試作決定!  
☆ためもとで、猪肉の肉巻きおにぎりを提案したところ試作してみることに!

試作

ライスコロッケ

- ① 人参、三豊なす、玉ねぎを刻んで、炊いておいたたからだ米のケチャップライスと一緒に炒める。
- ② ご飯をゴルフボールくらいの大きさに丸めて卵、パン粉をつけて揚げる。
- ③ 残ったトマトとケチャップをいためてトマトソースを作ったら完成!



試作状況



肉巻きおにぎり

- ① 炊き込みご飯をにぎりこぶしくらいの大きさに丸める。
- ② 猪肉を塩コショウ・みそ・塩麴の3種類に分けてやく。
- ③ おにぎりに猪肉をまいて完成!



※今後、商品化に向けてさらに検討予定。